

# 新築・建替え工事の時に確認すべき点



**基礎下地**  
防湿シート施工及びステコン2



**ベタ基礎完成**  
格子上の鉄筋をコンクリートで覆いました。これで、地面から上がってくる湿気を防ぎ、シロアリの侵入も防ぎます。また、住宅の重み・地震・台風・様々な力から住宅を守る効果があります。



**基礎下地**  
防湿シート施工及びステコン1



基礎に土台と360度床下換気可能な基礎パッキン施工  
基礎パッキン工法とは、ステンレス材の基礎パッキンを基礎コンクリートと土台の間に一定間隔で挟み込んでいく床下換気工法です。  
土台が基礎コンクリートと接触していないため、家を支える重要な土台の耐久性も向上します。  
阪神淡路大震災の後、地震が多く高温多湿な日本には最適な工法と言えます。



**ベタ基礎鉄筋施工**  
地面いっばいに格子状の鉄筋をもうけてその上からコンクリートで覆う基礎の事です。家の荷重を底全体で受け止め、面で支えます。



給排水管ベタ基礎上に施工引き込み管のみ基礎中施工



**基礎布部分施行 2**  
スペーサー確認  
鉄筋に取り付けてあるドーナツ型の金物がスペーサーです。  
スペーサーとは鉄筋が組めた後、コンクリートが鉄筋にどれだけ被っているかを確保する為に使用するものです。  
日本建築学会において、その被りが決められています。



上棟(雨仕舞いの為基本1日で施工)後構造用壁面ボード施工



**ベタ基礎鉄筋施工**  
鉄筋の間隔、上記の写真に有るようにピッチ200mm細かいピッチで組むことでより強い基礎となります。  
継ぎ手の重なり具合も重要なポイント  
鉄筋は、全て一本で加工して組み立てる事ができれば何も問題がないのですが、それは、不可能です。そのため継ぎ方が問題なのです。



**柱材JAS・ホルムアルデヒドF4確認**  
構造用集成材とは一定の製造基準に基づいて人工乾燥でよく乾燥し大きな節や割れ目など木の欠点を取り除き接着剤を使って作った建築材料の事です。  
規格がしっかりとしているので、寸法の精度、反りなどの狂いが少なく、構造上も無垢より強いとされています。



**布基礎部分枠組み**



**筋交い他施工確認**  
筋交いとは、軸組構造住宅で柱と柱の間に対角線にとりつけられる補強材のことで地震や台風などの横揺れに対し、筋交いをとりつけることでねじれを防ぎ、木造軸組住宅において耐震性能を向上させるとも重要な補強材です。



**布基礎部分枠組み 2**



**聚結金具施工状態確認**  
ハゴイタボルト、かすがいは壁が出来るまでにチェックすることなので、完成物件では確認できない為施工不良があってもわからないこともある。



**火打ち張り(斜材)施工確認**  
 ここでも横揺れに対しての筋交い



**外壁防水シート**  
 水下から施工と重なり確認  
 シートの重なりが瓦のように、水の流れる方向が下となっている



剛床造り、大引きの上に構造用合板施工、経年による床下がり少なく横揺れに対して面で突っ張る作用がある。



**壁中空方式施工の為銅線施工**  
 断熱材の外側と外壁材の間に、空気が通抜けられるように設けた空間。  
 空気が通ること、壁体内の湿気が排出され、内部結露の防止や、断熱効果があり、また、建物の耐久性能がUPします。  
 通気層はサイディングなど、ジョイント部分からの雨水の侵入があった場合の排出路にもなりますので、通気層を設けていない場合は、侵入した雨水の逃げ道がなく、サイディングの裏側から雨水を吸ってしまい、サイディングの暴れや割れが発生する可能性が有り建物の老朽化につながります。



**剛床工法(根太レス工法)**  
 従来の床工法では、床梁または大引きの上に根太(約4.5mm角の角材)を施工してその上に床下地合板を張りますが、経年劣化により根太の歪み、痩せ、腐食、根太の無い場所の床材(12mm前後)の疲労によりへこんだり、床なりの原因となります。

当社は、根太を設けず、厚みの厚い(24mm以上)床下地合板を直接施工する剛床工法を採用しています。  
 利点は根太工法と違い、経年劣化による床なり、へこみ等が圧倒的に少ないうえに地震や台風時に発生する水平力に対して強いのが特徴です。  
 2×4の壁面工法と同じ理屈です。  
 なお当社では在来工法ですが壁面工法も取り入れた在来壁面軸組の剛床工法です。



完成!!



**断熱材施工確認**  
 建材の中でもホルムアルデヒド放散量が最も少ない最高ランクの(フォースター)安全な製品です。  
 火災に対してもガラスを原料としたグラスウールは高温に強い不燃材ですから延焼や類焼を最小限に抑えます。  
 またグラスウールは吸音性に優れている為「音の悩み」もやわらげます。  
 さらに、ガラスを主原料にするグラスウールは、シロアリの食害にも強い素材です。  
 原料はリサイクルガラスを使って製品化して地球に優しい環境型の素材です。